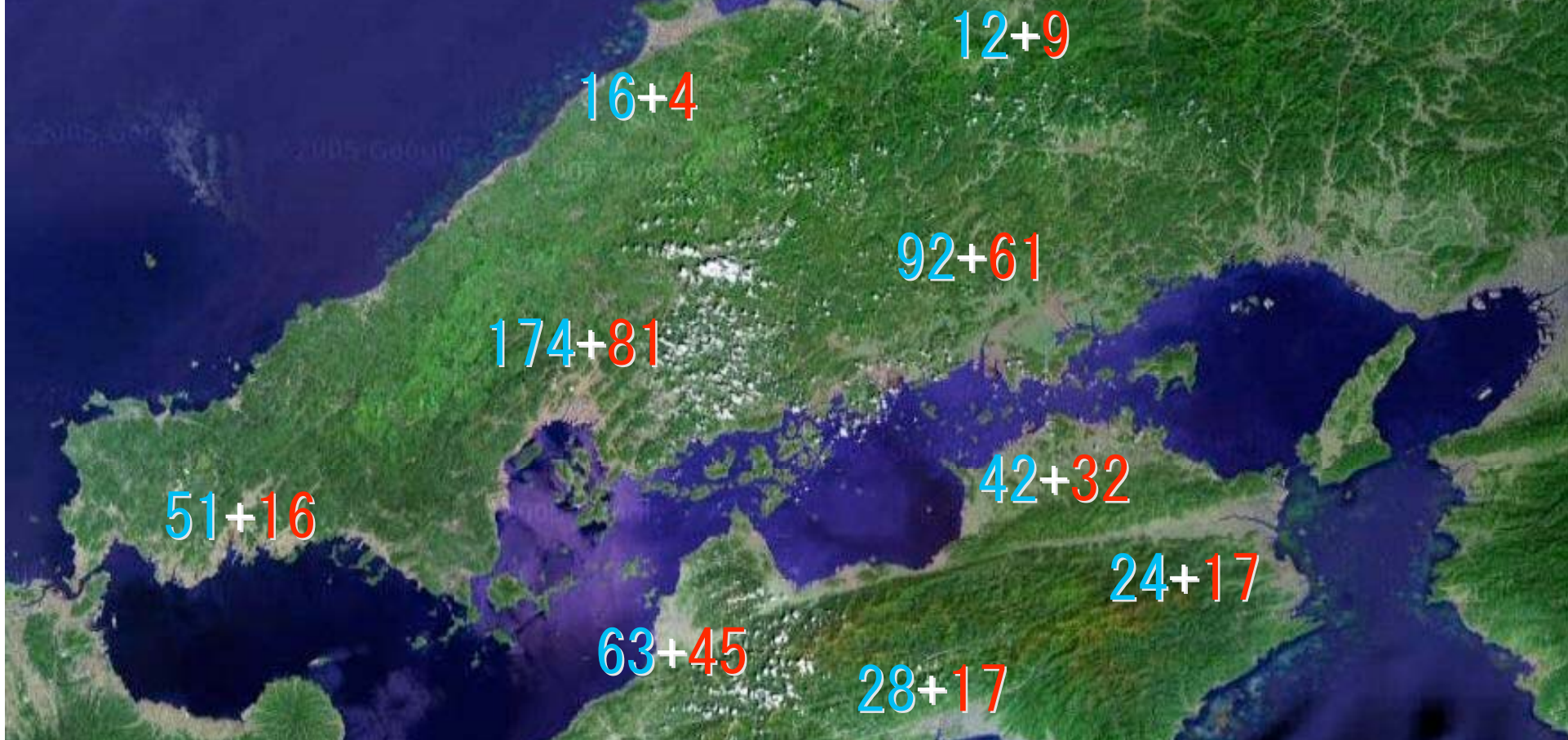


中国四国ブロックのエイズ対策の実施状況について

厚労科研：医療体制整備に関する研究班の分担研究者の立場から

広島大学病院 輸血部/エイズ医療対策室 藤井輝久

中四国地方のHIV/AIDS患者累積数(2013年3月末日時点)

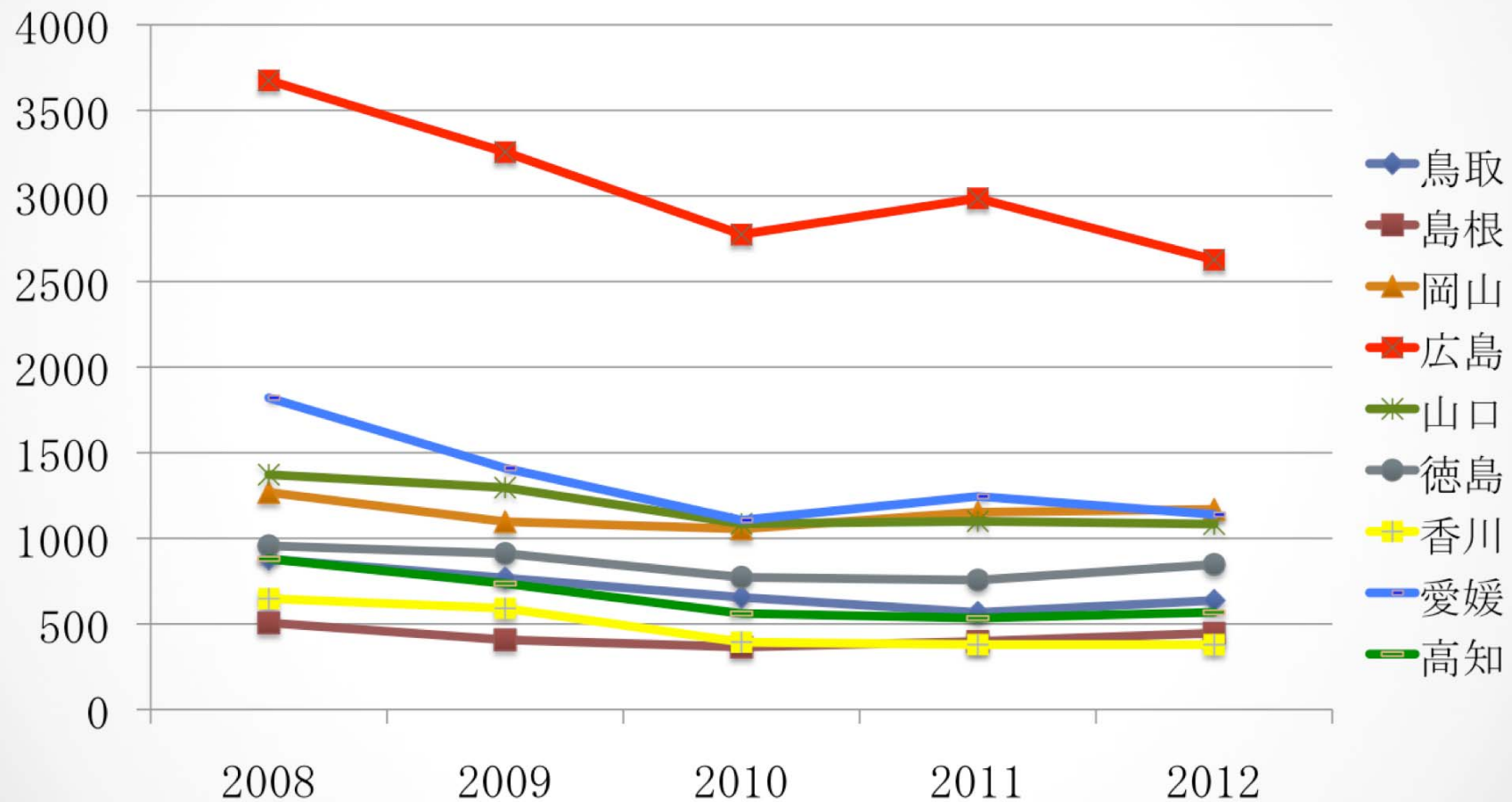


中国・四国地方9県の人口=1,155 万人 (2010年国勢調査より)

HIV+AIDS = 502+282 (中四国) / 14,932+6,824 (全国)

= 日本の3.6% (昨年比0.3%上昇)

近5年の保健所等における 検査件数



● 広島・愛媛以外では減少に歯止めが掛かっている？

2012年における人口10万人対 HIV / AIDS報告率

都道府県	10万人対
東京	0.697
大阪	0.632
栃木	0.550
愛知	0.539
石川	0.515
沖縄	0.500
広島	0.490
愛媛	0.422
香川	0.403
千葉	0.386

AIDS

都道府県	10万人対
東京	2.819
大阪	1.399
愛知	1.065
福井	0.872
沖縄	0.857
福岡	0.847
神奈川	0.729
和歌山	0.603
岡山	0.567
茨城	0.541

HIV

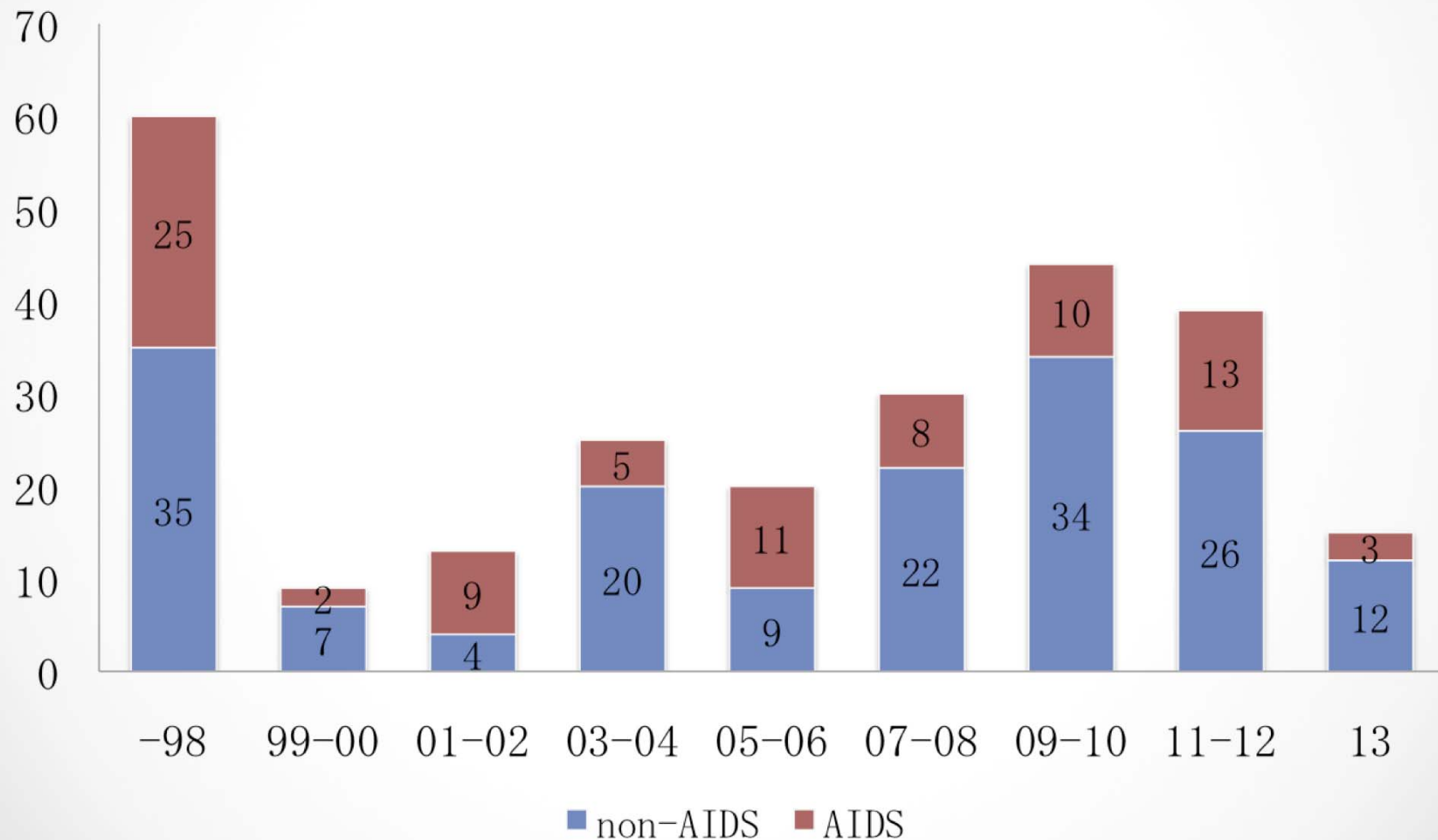
エイズで発見されるケースが増えている→早期発見が遅れている

広島大学病院の年次別の 感染経路別新患数

	血液製剤	異性間女	異性間男	同性/両性間男	母子	合計
1985	11	0	0	0	0	11
1990	16	0	2	0	0	18
1995	9	2	3	6	0	20
2000	5	2	3	8	0	18
2005	6	4	10	30	1	51
2010	1	2	5	75	0	83
-2013	0	3	11	40	0	54
合計	48	13	34	159	1	255

2013年7月末日時
点。

広大病院初診時年次別の HIV感染症の病期



2013年7月末日時

今年の研究計画

...

年度内の研修会の予定 I

- 医師向け
 - 7月15日（日）
- 歯科医師向け
 - 10月27日（日）；ブロック内拠点病院従事歯科医師対象
 - 12月8日（日）；開業歯科医師向け（県歯科医師会と共催）
- 看護師向け
 - 7月31-8月1日，8月28-29日（水-木）；初心者向け
 - 2014年2月8日（土）；経験者向け
 - 11月2日（土）；緩和，療養，在宅（訪問看護）に関わる看護師対象
- 薬剤師向け
 - 8月24-25日（土-日）、2014年1月25-26日（土-日）；県臨床心理士会と共催

* 赤字は、拠点病院・中核拠点病院職員以外も対象

年度内の研修会の予定Ⅱ

- 心理・福祉職向け

- 7月27日（土）；心理職初心者向け
- 9月14日（土）；福祉職向け
- 8月24-25日（土-日）、2014年1月25-26日（土-日）；県臨床心理士会と共催

- 四国地方医療者向け

- 9月7-8日（土-日）；全職種

- * その他会議等

中四国9県の行政担当者及び中核拠点病院医療者会議（8月30日、県と共催）

中国四国ブロックエイズ拠点病院等連絡協議会（8月30日、12月11日）

広島県エイズ中核拠点病院等連絡協議会及び研修会（7月10日、県主催）

包括カウンセリング研修会（2013年3月1-2日、岡山、県臨床心理士会主催）

社会福祉施設のための感染症対策研修会（11月30日、課題克服班主催、県と共催）

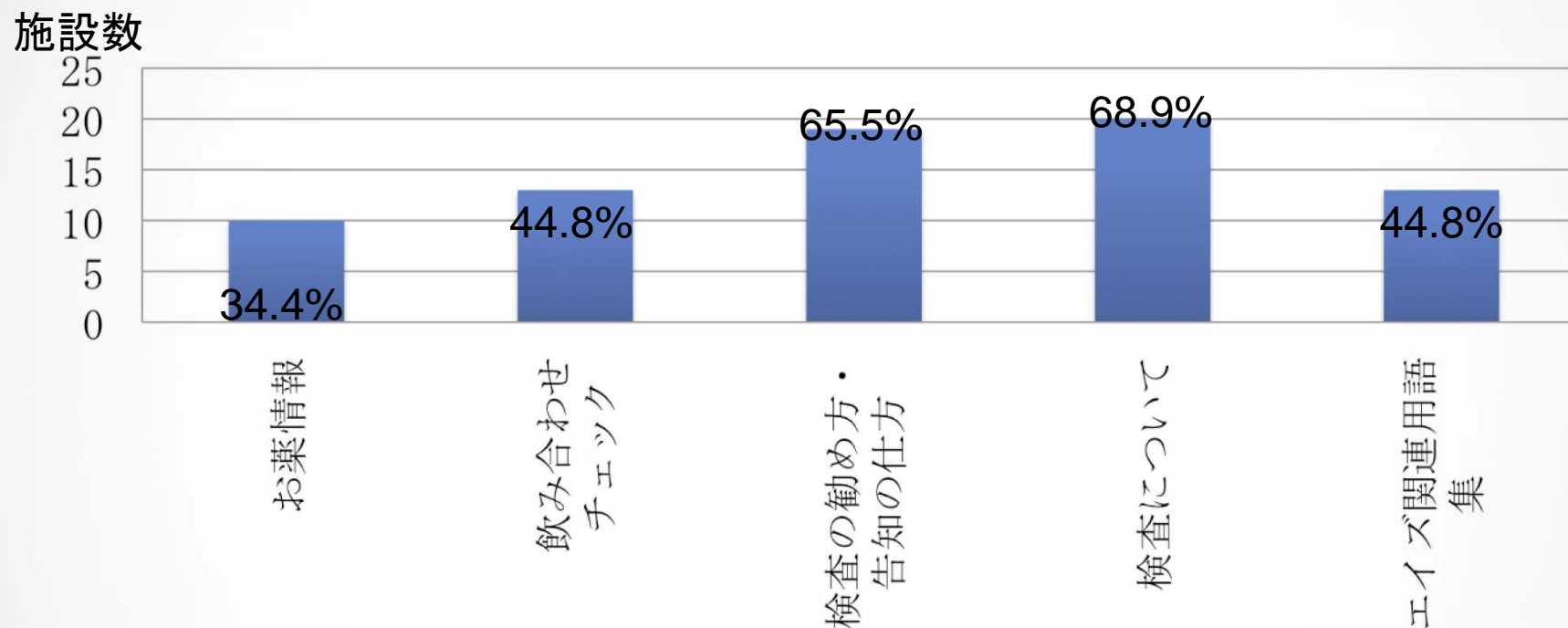
* 赤字は、拠点病院・中核拠点病院職員以外も対象

研修会で拠点病院以外にも 対象にする理由

- 新規患者は拠点病院で発見されるとは限らない。むしろ非拠点病院、開業医からの紹介が多い。
- 拠点病院はほとんどが急性期型病院で、長期入院を余儀なくされる場合、他の慢性療養保有病院等でも受け入れてもらわなければならない。
- 患者の高齢化に伴い、透析施設、在宅介護、訪問看護・診察の関わりが必要になってきており、それらを担当する施設に対する理解が必要。
- 患者に後遺症があり、在宅でのケアに移行する上で、家族のサポートが得られない場合が多い（独居、居住地周囲への病名漏洩への不安）ので、家族のみならず地域の施設（身障者介護施設等）への理解も必要。

発行小冊子の認知・活用

(中四国エイズ拠点病院向けアンケートより)



結果を受けて...

- 検査についての小冊子の認知度・活用度は高いが、薬剤についての認知度・活用度は低い。→他ブロック施設発行の方が有名？ 使いやすい？



- エイズ関連用語集は学会等では飛ぶようになくなるが、中四国では認知・活用度が低い？→今年改訂予定



今年の小冊子発行について

- エイズ関連用語集の改訂
- 検査で陽性となった場合の対応や患者を逆紹介される場合の対応についての小冊子が必要では？
 - 非エイズ拠点病院・開業医向けの“初期対応”と“慢性期対応”をセットにしたマニュアルの作成
- 経過の長い薬害患者（血友病合併）を地域の病院・施設で診てもらおうためのマニュアルもあればよい？
 - 成人（高齢）血友病患者の対応マニュアルの作成



← これらを参考にしたい